業務用　屋外型

# 業務用大型
# ミストファン

**水道水専用**

この度は、日動工業の業務用大型ミストファンをお買い上げいただき、厚くお礼申し上げます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、本製品の内容と性能を十分にご理解の上で、適切な取扱いと保守をおこなってください。
また、取扱説明書はいつでも取出せるよう大切に保管してください。

## 取扱説明書

# MST-5560シリーズ

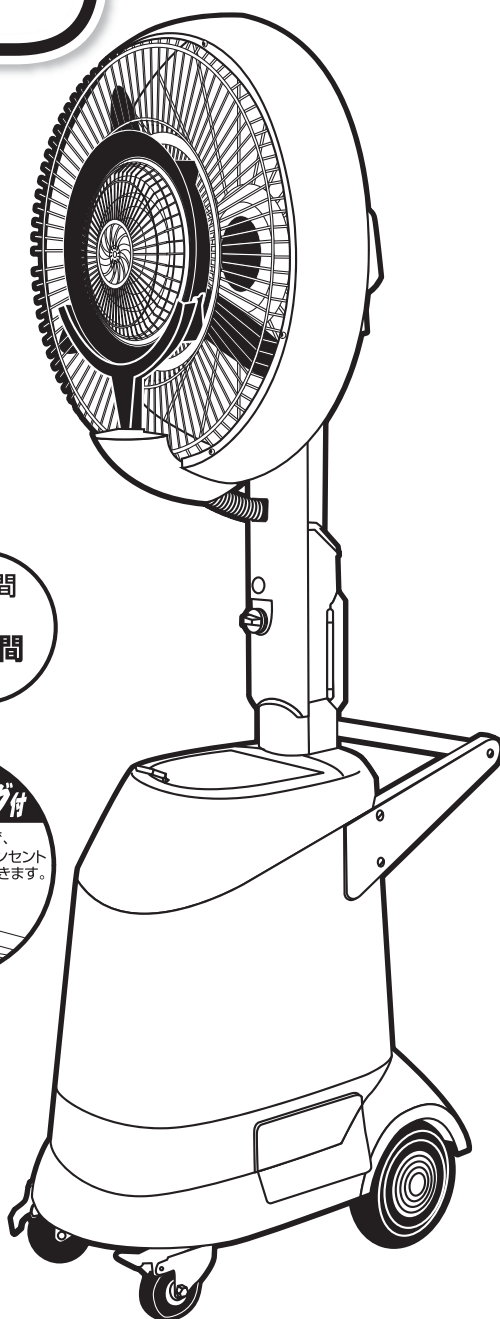
入力 100v 専用　電線長 5m　有効貯水量 60ℓ　連続運転時間 約9.5時間（貯水量60ℓ）

目　次



〈組立てに必要な工具〉
- プラスドライバー
- 13スパナ

**※組立てには、二人以上の人員が必要です。**

日動工業株式会社

# 安全上のご注意

記載内容の注意事項は、本製品を正しくご使用いただき、ご使用者および周囲の人々への危害、損害を未然に防止するためのものです。
想定される危害や損害を注意喚起シンボルで警告表示しています。誤った取扱いをすると重大な事故、または致命傷になることもあります。
また周囲の人々の安全を確保するため、次の警告を守ってください。

| 注意喚起シンボル | 内容 | |
|---|---|---|
| ◇! | **警　告** | 取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こる可能性があり、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。 |
| △! | **注　意** | 取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こる可能性があり、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害などの発生が想定される場合。 |
| ● | **強　制** | **必須事項**：しなければならないこと。<br>※図の中や近くに指示内容や注意事項が描かれているものもあります。 |
| ⊘ | **禁　止** | **禁止事項**：してはならないこと。<br>※図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。 |

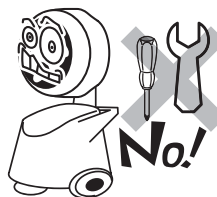
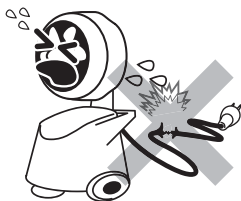
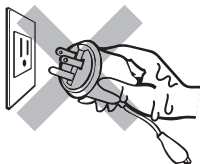
●注意喚起シンボルは一般的な場合を示しています。

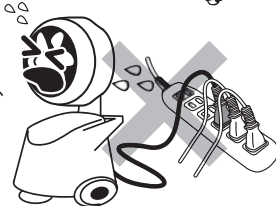
## 警告 ※取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示します。

**火災・感電・ショートを防ぐために** 異常・故障時は、すぐに使用を中止する。発煙・発火・感電の原因になります。

**下記の場合、すぐに使用を中止し電源プラグを抜いて、販売店または当社へ点検・修理を依頼してください。**

- スイッチを入れても、ときどき作動しないことがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 使用中ときどき止まる。
- 使用中に異常な音がする。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- ホース・チューブが破れている。
- こげくさい"におい"などの異臭がする。

- 絶対に改造および記載事項以外の分解はしないでください。修理などのご依頼は販売店および当社へご相談ください。故障・火災・感電・ケガの原因になります。

- コードやプラグを破損しないでください。また、傷んだまま使用しないでください。火災・感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグの抜差しはしないでください。感電の原因になります。

- 入力電源は必ず100Vのコンセントを単独で使用してください。たこ足配線などで、他の接続機器と併用した場合、火災・感電の原因になります。

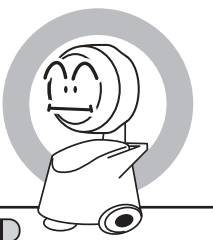
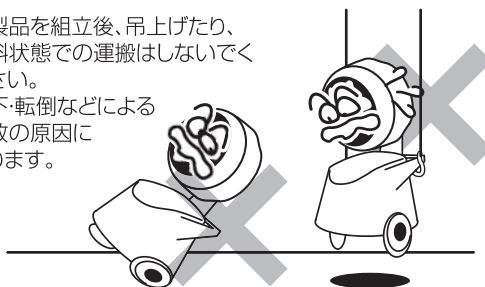
100V
単独コンセント

- 本製品の清掃時や使用しない時は、必ず電源プラグを抜いてください。火災・感電の原因になります。



- 電源プラグは、必ずプラグを持って確実に抜差ししてください。（コードを引張らない）断線による故障・火災・感電の原因になります。

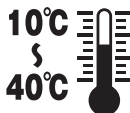
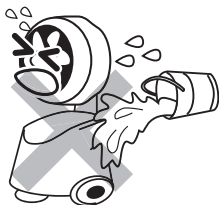
- 引火性・可燃性・爆発性・発火性および酸化性のものや火の付いたものをタンクに入れないでください。また、その付近では使用しないでください。火災・ヤケドなどの原因になります。

## 警告 ※取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示します。

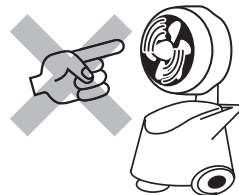
- 本製品は、水平かつ安全な場所で使用してください。
※キャスターのブレーキは、必ずかけてください。

- 本製品を組立後、吊上げたり、傾斜状態での運搬はしないでください。
落下･転倒などによる事故の原因になります。

## 注意 ※取扱いを誤った場合、危険な状態が起こる可能性があり、傷害や軽傷などを受ける可能性や物的損害の発生が想定される場合を示します。

- 吐出された水やタンク内の水を飲用しないでください。

- 環境や衛生上、必ずきれいな水道水を使用してください。
溜め水やゴミの入った水は使用しないでください。
また、工業用水･井戸水･海水などの不純物が混入した水を使用しますと故障や劣化、異臭の原因になります。

- 冬期や寒冷地など、凍結のおそれがある地域では、必ず水抜きをおこなってください。
ポンプ･チューブ･ホース内が凍結しますと故障･事故の原因になります。
※凍結していると思われるときは、ぬるま湯などでポンプやチューブ･ホースの氷を溶かしてから使用してください。
給水可能および使用可能温度は10℃～40℃までです。

- 本体や電源コード･プラグは絶対に水洗いしないでください。
感電･故障の原因になります。

- 火気に近づけないでください。
本体や電源コードの変形による故障･火災の原因になります。
ストーブなど燃焼器具に向けて使用しないでください。
火災の原因になります。

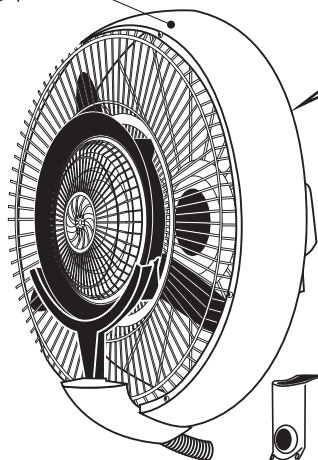
- ヘッド部をふさいだ状態で運転しないでください。
故障･火災･感電の原因になります。

- 運転中、ファンに指や頭を近づけないでください。
髪の毛や衣類を巻込みケガの原因になります。

- 本製品を踏み台にしたり運搬車代わりにしないでください。
故障･ケガの原因になります。

- 強い振動や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

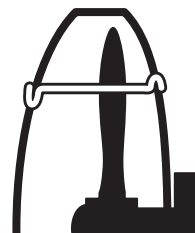
- 直接、体に冷風やミストが当たらないようにご注意ください。
体調が悪化したり、健康を害する原因になります。

# 部品名称･操作パネル･仕様

ファンヘッド

【⚠ご注意】
※運転前に必ず羽根固定棒は
すべて、はずしてください。

羽根固定棒

ファンヘッドには保護用の羽根
固定棒が6本入っています。

※運搬時には必要になりますので大切に保管してください。

ポールカバー

## 操作パネル

### 風量調節ダイヤル

| 1 | 2 | 3 | 0 |
|---|---|---|---|
| 弱 | 中 | 強 | 停止 |

Mist

ミスト発生スイッチ

### ミスト量調節ダイヤル

〈ミスト最大〉 〈ミスト最小〉

Regulating Valve

ポール

ブラケット
左･右

タンクフタ

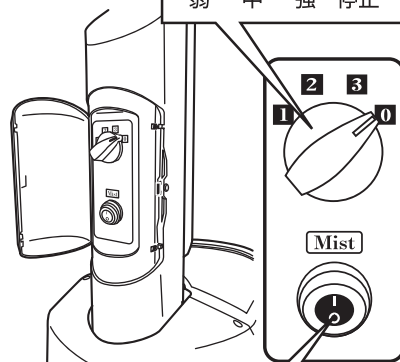
ハンドルバー

ハンドルアーム

後カバー

タンク

カート

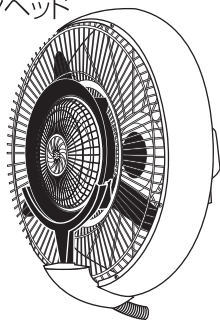
自在キャスター
（ブレーキ付）

〈仕様〉

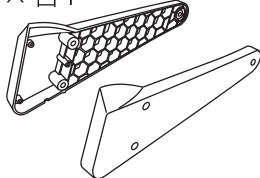
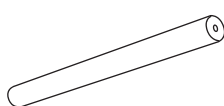
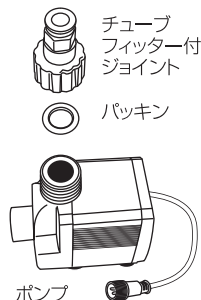
- ●定 格 電 圧：100V
- ●消 費 電 力：(50Hz)256W・(60Hz)278W
- ●入 力 電 線：VCTF0.75㎟×3芯×5m
  （ポッキンプラグ）
- ●使用環境温度：10℃～40℃
- ●使用環境湿度：10%～75%
- ●給 水 温 度：40℃以下
- ●給 水 方 式：手動／自動
- ●羽 根 径：φ550
- ●有効貯水量：60リットル
- ●定 格 時 間：連続定格
- ●連続運転時間：約9.5時間(貯水量60リットル)
- ●首 振 角 度：(左右)0～90度
- ●サ イ ズ：W670×D753×H1870㎜
- ●質 量：50㎏

## 梱包内容

組立前に必ず梱包内容をよくお確かめください。万一、欠品や不良品がありましたら当社までご連絡ください。

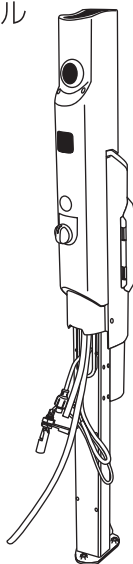
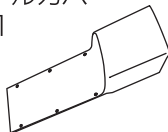
### 本体BOX

● ファンヘッド ×1

● 羽根固定棒 ×6

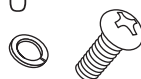
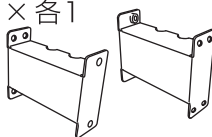
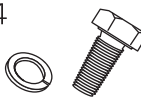
● ハンドルアーム左·右 ×各1

● ハンドルバー ×1

● 水中ポンプセット×1

● ヘッドカバー ×1

※保管時使用。

### ポールBOX

● ポール ×1

● ポールカバー ×1

● φ4×12 タッピングトラス ×8

● ミスト量調節ダイヤル（予備） ×1

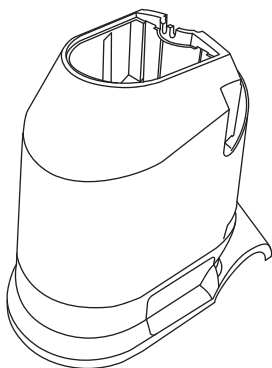
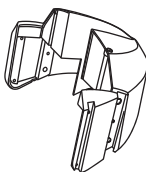
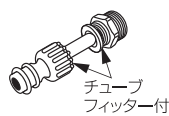
● M6×16ネジ·Sワッシャー· ×各10

● ブラケット左·右 ×各1

● M8×20六角ボルト·Sワッシャー ×各4

#### ハンドルアーム固定用

● φ4×12 タッピングトラス ×4

● φ4×10 タッピング皿ビス ×8

● M6×16ネジ·Sワッシャー·平ワッシャー ×各8

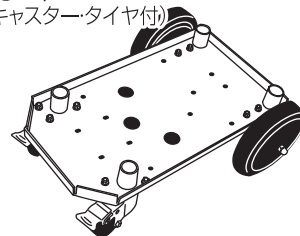
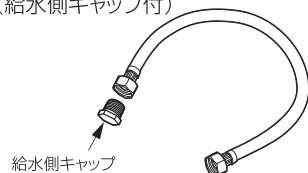
### タンクBOX

● タンク ×1

● 後カバー ×1

● オスジョイントセット ×1

※自動給水用ホースに使用します。
※水道接続にはメスジョイントが必要ですので、ご用意ください。

● カート ×1（キャスター·タイヤ付）

● タンクフタ ×1

● 排水口のゴム栓 ×1

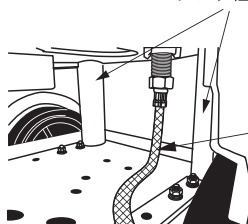
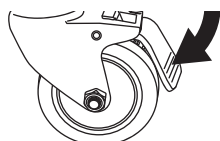
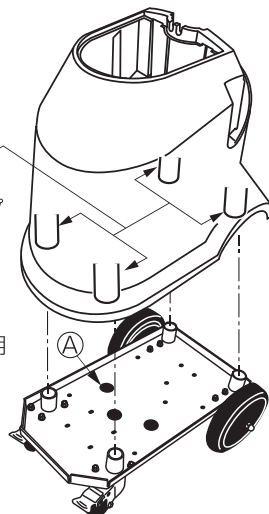
※排水口にはまっています。

● 自動給水用ホース ×1（給水側キャップ付）

※梱包のネジ·ボルト類は予備が含まれています。

# 組立方法

※組立てには、二人以上の人員が必要です。

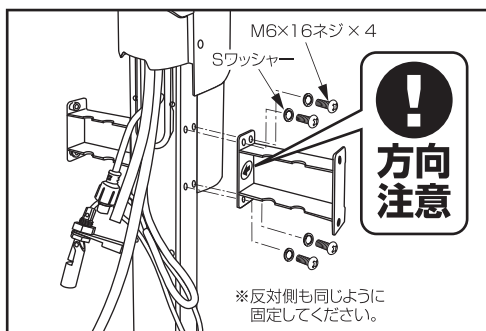
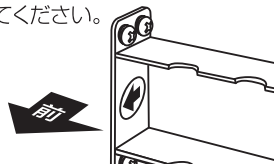
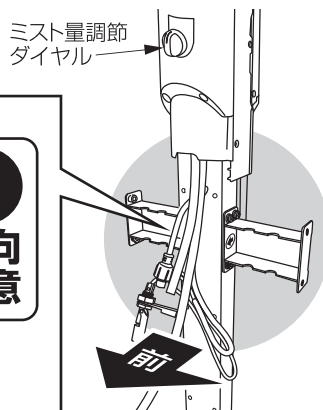
## 1 タンクとカートの取付け

- 後カバーとタンクフタを取りはずして、前後に注意しながら
  タンク底面のパイプをカートの4本の支柱にはめ込みます。

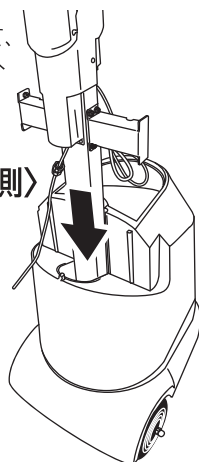
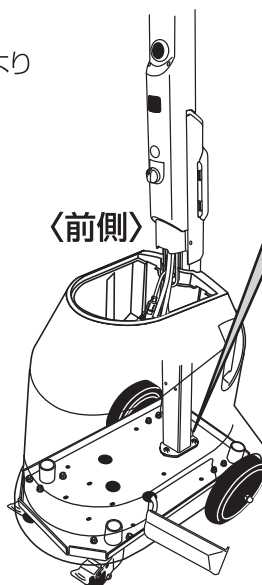
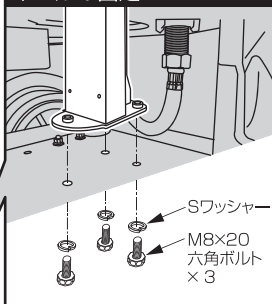
※排水管出口がカートの穴Ⓐに抜け、4本のパイプがしっかりとはまっているか確認してください。
※自動給水用ホースは、給水側が取出せるようにしておいてください。

※キャスターのブレーキは、必ずかけてください。

## 2 ポールとブラケットの取付け

- ポールの両サイドに
  ブラケット左･右を
  それぞれ取付けます。

〈ご注意〉
ブラケットの矢印 マークがポールの前側に向くように取付けてください。

## 3 タンクとポールの取付け

- ポールをタンク後部より差込み、カートの底面より
  M8×20六角ボルトで固定してください。

※ポール前側の配線やチューブ･水センサーはタンク内へ入れて、ポール後側の電源コードは外へ出すようにしてください。

## 4 タンク内の配管・配線とポンプ設置

● 水センサーは、サポーターをはずしてから取付けてください。
● タンク底のゴム栓を確認してください。
● 水中ポンプを組立てタンク底の凹みに設置します。

### 水センサーの取付け

● 水センサーのフロート部が下になるように取付けてください。

サポーター

フロート部

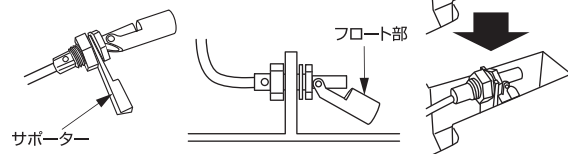
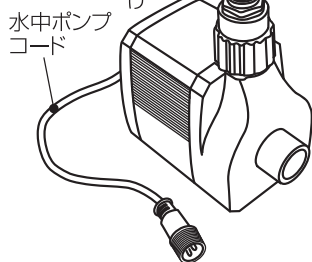
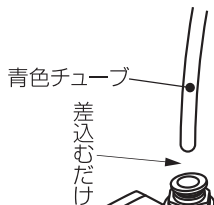
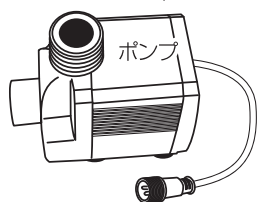
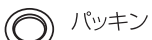
### 水中ポンプの設置

〈水中ポンプの組立て〉

チューブフィッター付ジョイント

パッキン

青色チューブ

差込むだけ

水中ポンプコード

※ポールからの青色チューブをチューブフィッターに差込み、水中ポンプコードのコネクターを接続してから設置してください。

### 排水口のゴム栓

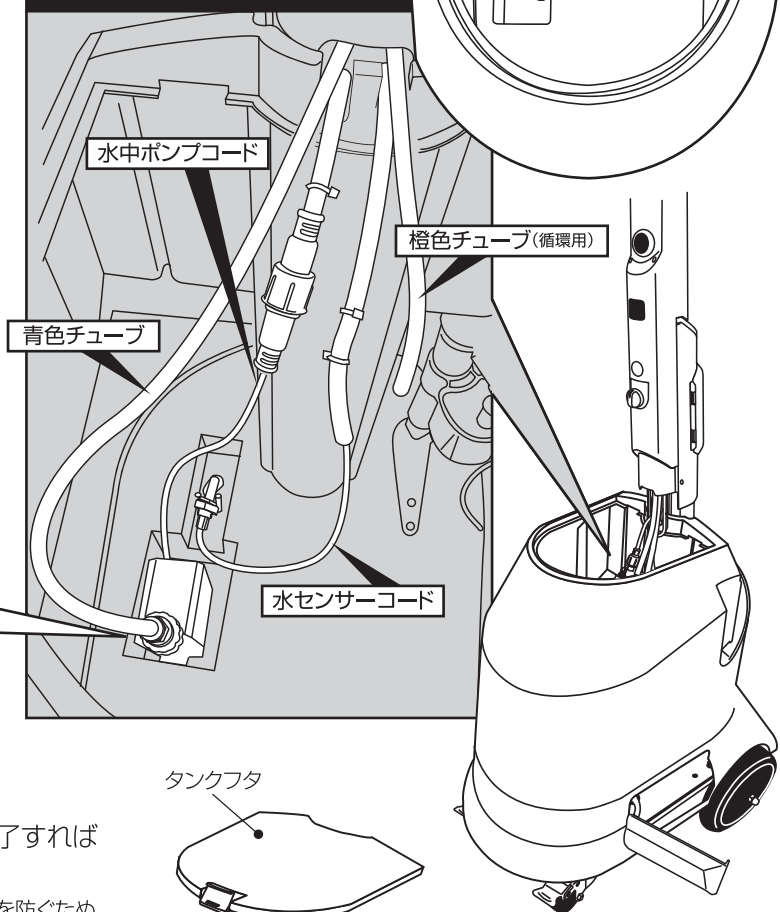
● 排水の際はゴム栓を抜いてください。

### タンク内部

水中ポンプコード

橙色チューブ(循環用)

青色チューブ

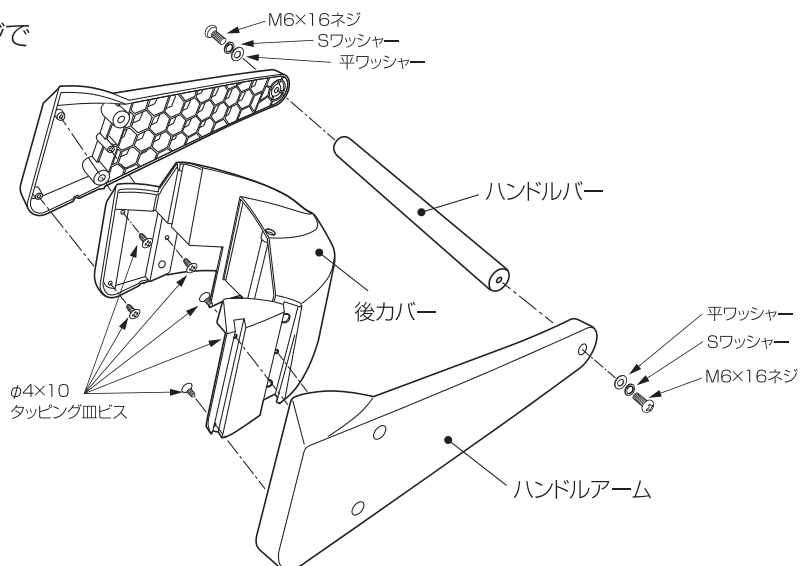
水センサーコード

タンクフタ

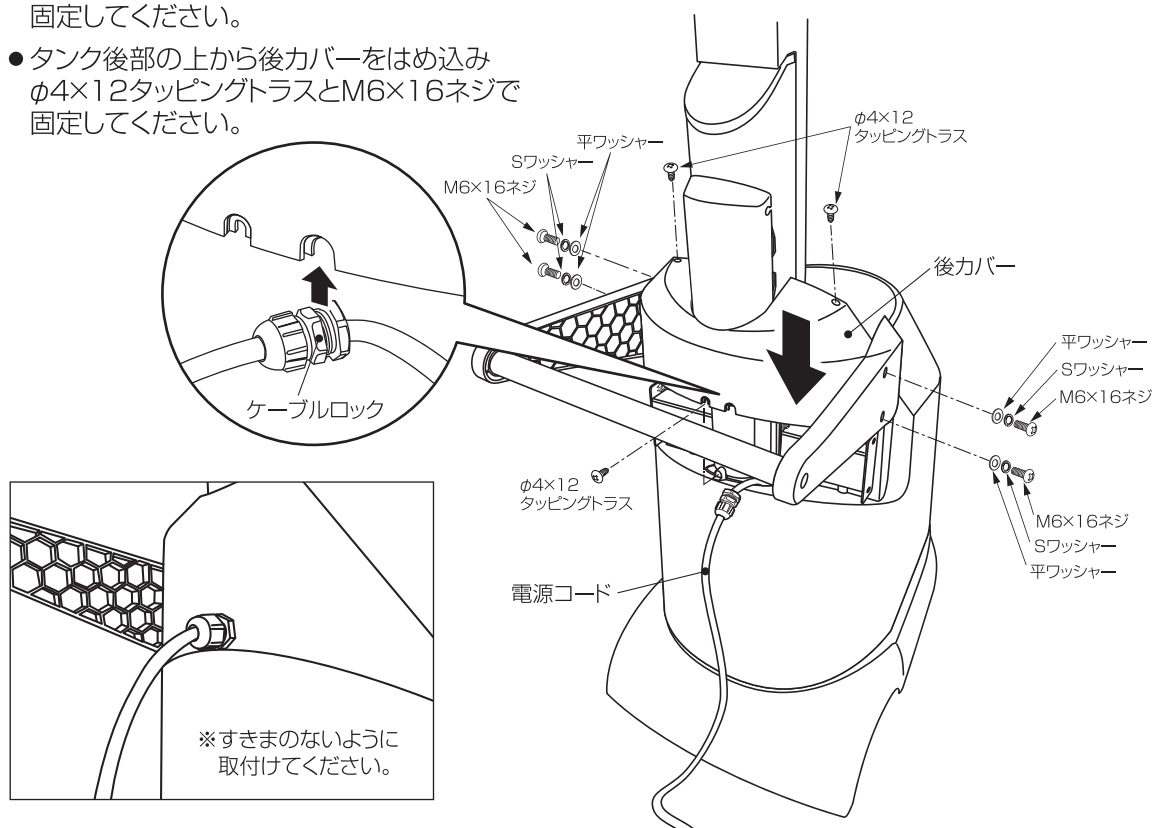
● 配管・配線とポンプ設置が完了すればタンクフタをしてください。

※ご使用・保管の際もゴミや異物混入を防ぐため必ず、タンクフタはしてください。

# 組立方法

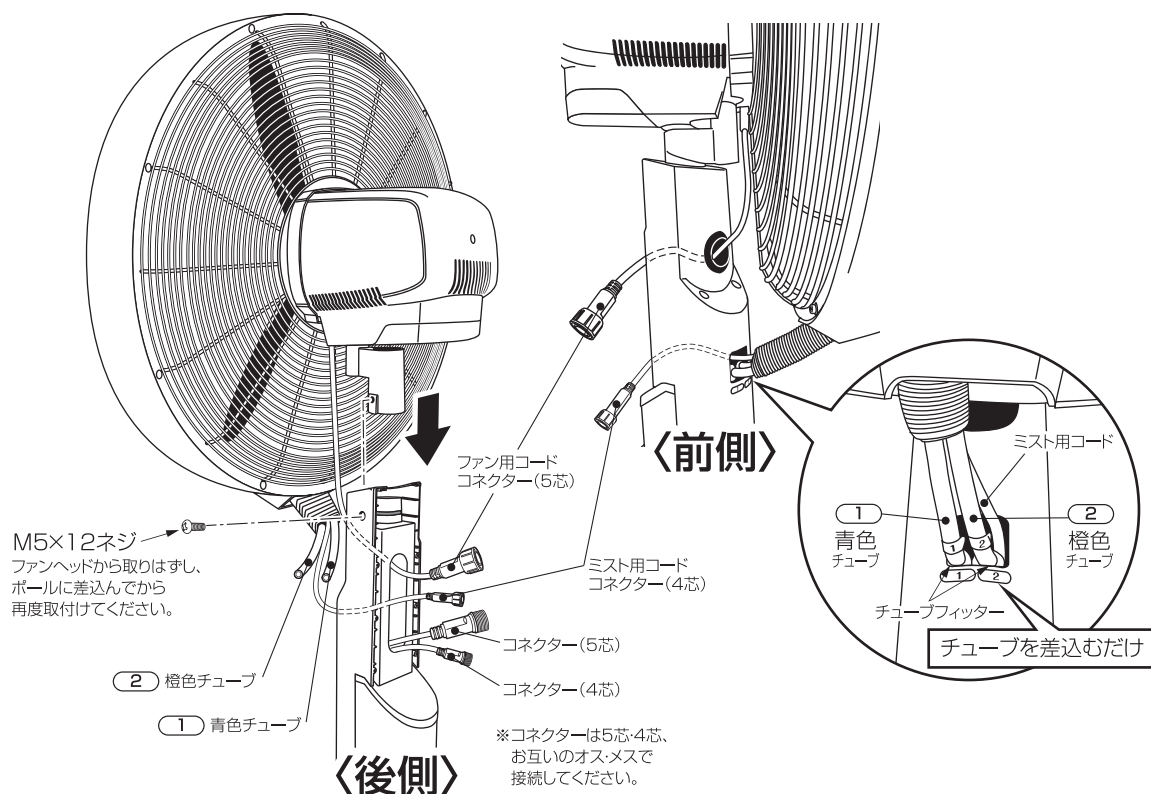
## 5 後カバーの組立て

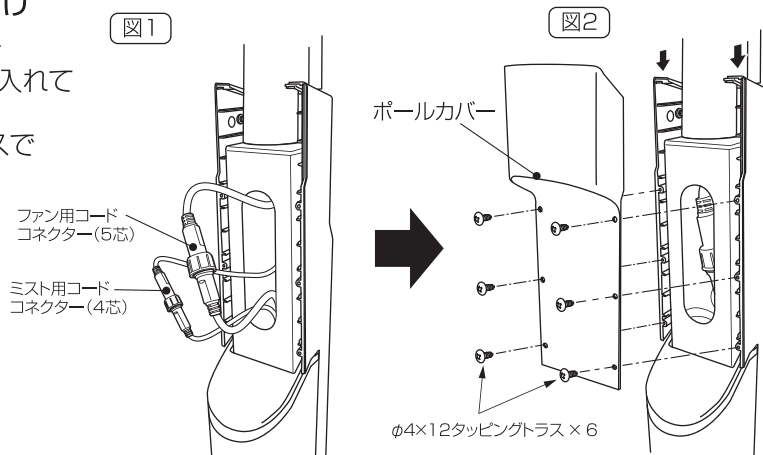
- ハンドルバーをM6×16ネジで固定してください。
- 後カバーの内側から$\phi$4×10タッピング皿ビスで固定してください。

## 6 ケーブルロックの固定と後カバーの取付け

- 電源コードのケーブルロックは、後カバーの凹みにはめて固定してください。
- タンク後部の上から後カバーをはめ込み$\phi$4×12タッピングトラスとM6×16ネジで固定してください。

# 組立方法

## 7 ファンヘッドの取付けと配管・配線

- ファンヘッドをポールに取付後、ファン用コードコネクター（5芯）は、ポール前面の丸穴より通しポールの5芯コネクターと接続してください。
- ミスト用コードコネクター（4芯）は、チューブフィッターのある四角穴より通しポールの4芯コネクターと接続してください。
- 青色チューブは①へ、橙色チューブは②へそれぞれのチューブフィッターに差込んでください。

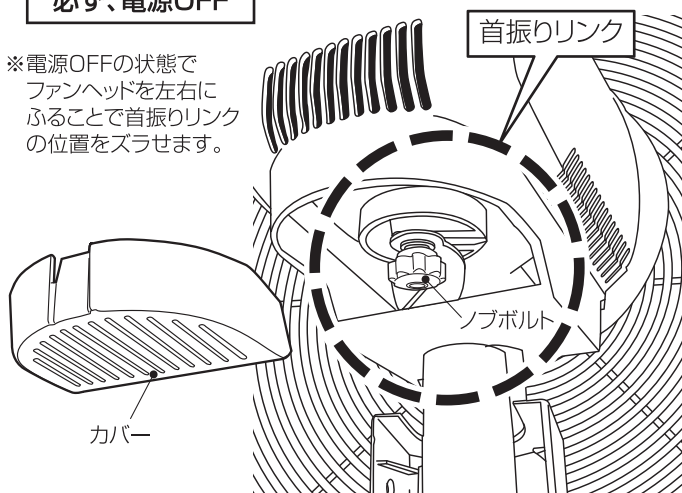
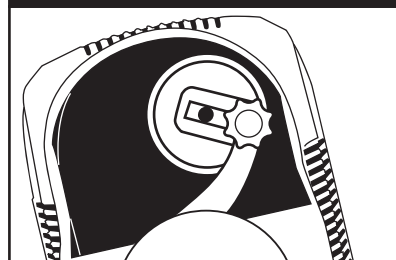
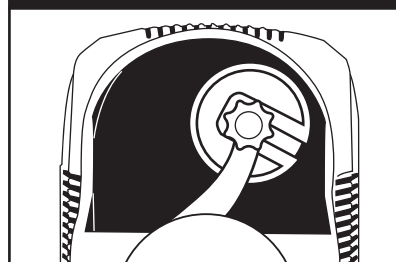
〈前側〉
ファン用コード
コネクター（5芯）
M5×12ネジ
ファンヘッドから取りはずし、
ポールに差込んでから
再度取付けてください。
ミスト用コード
コネクター（4芯）
コネクター（5芯）
コネクター（4芯）
② 橙色チューブ
① 青色チューブ
〈後側〉
※コネクターは5芯・4芯、
お互いのオス・メスで
接続してください。
ミスト用コード
① 青色チューブ
② 橙色チューブ
チューブフィッター
チューブを差込むだけ

## 8 ポールカバーの取付け

- 接続されたコネクターを図2のようにポール内に入れてポールカバーを差込み φ4×12タッピングトラスで固定してください。

## ファンヘッドの首振り

● ファンヘッド後部のカバーをはずし、ノブボルトをゆるめ首振りリンクを任意の位置で固定してください。

※ノブボルトの固定位置で首振角度を0度〜90度まで自由に調節。

必ず、電源OFF

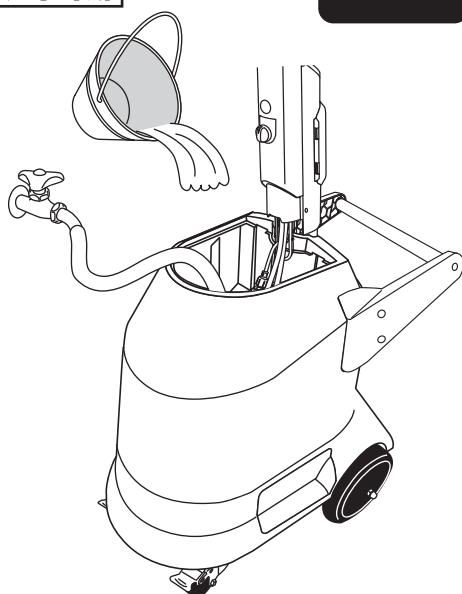
※電源OFFの状態でファンヘッドを左右にふることで首振りリンクの位置をズラせます。

首振り 左右 90度

首振りしない

## 給水方法〈水道水専用〉

※水温40℃をこえる水は使用しないでください。

### 手動給水

● 移動の際にも水が溢れない程度に給水してください。

有効貯水量 **60ℓ**

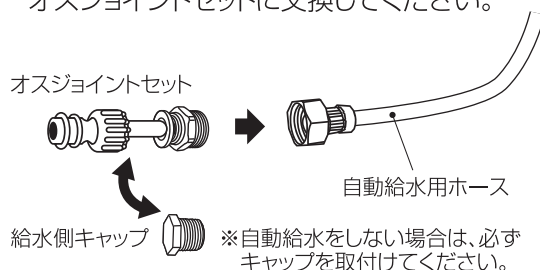
水道水専用

### 自動給水

● 自動給水用ホースの給水側キャップをはずして、オスジョイントセットに交換してください。

オスジョイントセット

自動給水用ホース

給水側キャップ

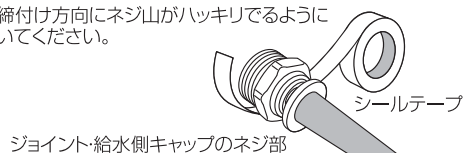
※自動給水をしない場合は、必ずキャップを取付けてください。

※水道ホース側にはメスジョイントが必要ですので、ご用意ください。

〈シールテープの巻き方〉

ホースや給水側キャップを再装着する場合は、ネジ部に市販のシールテープを巻いてください。

※ネジの締付け方向にネジ山がハッキリでるように強く巻いてください。

シールテープ

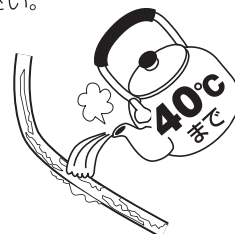
ジョイント・給水側キャップのネジ部

## 保守上のご注意

### ■本体の清掃

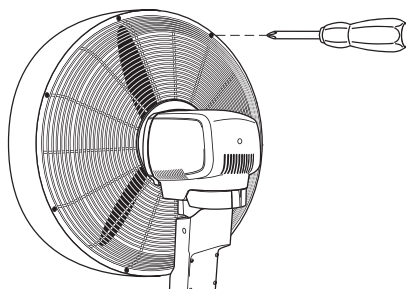
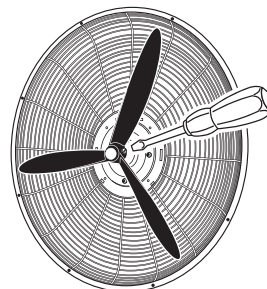
汚れを落とす場合は、中性の洗剤を浸した柔らかい布をよくしぼって拭取り、洗剤が本体に残らないように乾いた布で仕上げてください。

### ■タンクの清掃

水アカの付着などを落とすために定期的にタンクの清掃が必要です。タンクフタを取り、ポンプ下のゴム栓をはずして水を抜いてください。配線やチューブに注意しながら柔らかいスポンジなどで水洗いしてください。

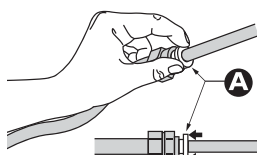
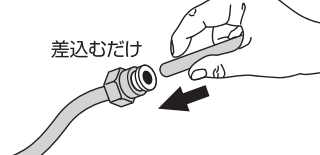
※冬期や寒冷地など、凍結のおそれがある地域では、必ず水抜きをおこなってください。
ポンプ·チューブ·ホース内が凍結しますと故障·事故の原因になります。
※凍結していると思われるときは、ぬるま湯などでポンプやチューブ·ホースの氷を溶かしてから使用してください。
給水可能および使用可能温度は10℃～40℃までです。

### ■羽根の清掃

必ず電源プラグを抜いてから、ヘッド後部のガードをはずして羽根の清掃をしてください。

※シンナーやベンジンなどの揮発性の液体および酸·アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤をかけたりしないでください。
変質による本製品の破損や変色の原因になります。

①ファンヘッド後部のビス8本をプラスドライバーではずし前面ガードのユニットを前に倒します。

②羽根固定ビスをマイナスドライバーではずし清掃してください。

### ■チューブフィッターの抜差し

チューブを少し押込みながらⒶを押さえて引抜いてください。

〈チューブの抜取り〉

〈チューブの差込み〉

## 使用方法

**1** タンクに水を入れます。(手動給水/自動給水はP.9を参照してください。)

**2** 電源コードをコンセントに差込んでください。

**3** 風量調節ダイヤルを任意の位置にあわせます。

**4** ミスト発生スイッチをONにします。

**5** ミスト量調節ダイヤルでミスト量を調節してください。

## こんなときは

### 必ず「安全上のご注意」を先にお読みください。

| 状　　態 | 可能性のある原因 | 対　処　法 |
|---|---|---|
| 作動しない。 | 電源プラグは、コンセントに差込んでいますか? | 電源プラグをコンセントに差込んでください。 |
| | 電源プラグは、接触不良をおこしていませんか? | 電源プラグにガタツキやゆるみがないか調べてください。接触不良を解消してください。 |
| | モーターの故障 | 当社および販売店にご相談ください。 |
| | 電源は供給されていますか?<br>停電や電気が来ないなど。 | 元ブレーカーの確認と停電などの場合は、電力会社や電気工事店に連絡して対処してください。 |
| 使用中に止まる。 | 入力電線が断線していませんか?<br>電線にキズ・ひび割れ・膨れ・凹みなど。 | 電線の修復および交換。<br>もしくは、当社および販売店にご相談ください。 |
| 作動しているが、<br>ミストが噴出しない。 | タンク内に水が入っていますか? | 水道水を補充してください。 |
| | ミスト発生スイッチを入れても<br>水中ポンプが作動しない。 | 断線の確認および水中ポンプの交換。<br>もしくは、当社および販売店にご相談ください。 |
| 使用中に異常音。 | モーターやポンプの故障 | 当社および販売店にご相談ください。 |

⚠ 当社技術者以外の方が、本製品を分解したり、修理や改造は絶対にしないでください。

＊上記の対処をしても改善されない場合は、ご使用を中止し販売店か当社に点検・修理をご依頼ください。＊

### ≪保証規定≫

1. 製品および取扱説明書の記載事項に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げ後、表記の期間、無償修理または交換のみさせていただきます。
   保証期間は **お買い上げ日より1年間** です。
2. 保証期間内でも次の場合は、有償にて修理または交換となります。
   イ. 異常電圧や指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障。
   ロ. 法令および取扱説明書に違反した使用や誤用・乱用などの取扱い不注意による故障。
   ハ. 火災・地震・水害および落雷その他天災地変や盗難などの災害による故障。
   ニ. 使用上の不備や不当な修理・改造および使用不可の場所での使用が起因する故障。
   ホ. 使用中に生じた傷など外観上の変化。
   ヘ. 本書の提示がない場合。
3. 遠隔地への出張修理をおこなった場合には出張に要する実費を申し受ける場合もあります。
4. 交換の必要が生じた場合は、製品に本書を添えてお買い上げ店へご持参または、当社へ直接ご送付ください。
5. 故障原因確認のため、修理・交換前の部品および製品は、販売店もしくは当社にて引き取らせていただきます。

**本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。**

### 保証書

| 商品名 | ミストファン　60L | | 保証期間 | | お買い上げ 年月日より<br>年　月　日　**1**年 |
|---|---|---|---|---|---|
| お客様 ご住所 | | | 販売店 | 店名 | |
| お客様 氏名 | | 電話 | 販売店 | 住所 | |
| 型式 | | | ロットNo. | | |

総発売元　日動工業株式会社

● 製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。


総発売元　日動工業株式会社

□本　　　社　〒572-0076 大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22 TEL.072(803)6905㈹ FAX.072(803)6908
□札幌営業所　〒003-0822 札幌市白石区菊水元町二条2-3-1 TEL.011(871)0577㈹ FAX.011(871)0579
□東京営業所　〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-14 TEL.03(5683)4010㈹ FAX.03(5683)4021
□名古屋営業所　〒454-0848 名古屋市中川区松ノ木町1-32-2 TEL.052(351)3666㈹ FAX.052(352)7558
□大阪営業所　〒572-0076 大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22 TEL.072(803)6905㈹ FAX.072(803)6908
□福岡営業所　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-17-32 TEL.092(474)7955㈹ FAX.092(474)6329

2015年6月14日まで　〈本社 旧住所〉 〒570-0002 大阪府守口市佐太中町6-47-7 TEL.06(6905)6905㈹ FAX.06(6905)9788


2015.05